



子育て通信

カナリヤ

発行 第348号 2024. 11. 1.

時津町子育て支援センター『こぼとの家』
長崎県西彼杵郡時津町西時津郷 1000-10

支援センター TEL095-882-7455

保育園 TEL095-882-4559

FAX095-882-4901

ホームページ

<https://www.togitsukobato.jp>

～おもちゃをじっと見つめて遊んでいます～



～お母さんと一緒におもちゃを作って遊びました～



『秋の空気』

さわん さわん かぜがふいて

そらに とびだした もみじさん
さわさわさわさわ

あかい もみじさん
きいろい もみじさん
ちやいろい もみじさん
あなあき もみじさん

くるくる おどって
ふんわり おちる
ふわふわのじゅうたんになったよ

ぼとん ことん
どんぐりが おっこちてきて

もみじさんの おやまは
どんぐりの ベッド
ぬくぬくだよ

ひゅるるるるる
つめたい かぜが ふいてきた

ざわざわざわざわ
ざざざざざざざ
もみじさん とばされて

時津こぼと保育園
園長 嘉村 望

おやおや もみじさんが
かくれんぼしているよ

あっ みつけた
さわさわ さわわん
また あそぼうね

絵本: 『さわさわ もみじ』
作: 東直子
絵: 木内 達朗

秋の空気の心地よさをじんわりと感じ、この心地よさがずっと続くといいなあと思っているうちに秋の空気は変わりやすく一瞬のうちに過ぎ去ってしまいます。

温暖化が進み、10月になっても真夏日が続き、秋を感じ取れる季節が短くなり、日本の四季も変わってしまうかもしれません。

心地よい風が吹く中、近くの公園などを子どもと一緒に散歩してみると、どんぐりやまつぼっくり、木の実などを見つけたり、美しい色に染まった落ち葉のじゅうたんの中を歩いてみるのも楽しいですね。

夜、寝る前にベッドの中で子どもと一緒に絵本を読んでみたり、ご家族で秋を満喫できる素敵な時間が過ごせますように…

11月子育てワンポイント

『タッチケアで心も元気に！』

アタッチメント（愛着形成）とは、特定の人との関係を通じて形成される心理的な絆のことを言います。愛される経験を通して形成され、生きていくために必要な安心感や信頼感の土台となります。保育者が日常的に繰り返し行う世話を通して、子どもの中で愛着が形成されていきます。

愛着の発達段階

4つの段階に区分され、第3段階（生後6、7か月～2、3歳）が明確な愛着段階とされています。

人の区別が明確になり、特定の人に対する愛着行動がはっきりと現れることで、人見知りにつながっていきます。

愛着が形成されると、“後追い”をしたり、“初めての場所では特定の人が見える範囲内だと自由に遊ぶ”などの行動が見られます。



授乳やミルクの時は、子どもの目を見つめて 穏やかな気持ちで優しく語りかける

愛情や信頼の力は相手と目を合わせる能力から育っていきます。

ベビーマッサージやふれあい遊びを積極的に行う
スキンシップも愛着づくりには非常に高い効果があります。朝起きた時や就寝前には抱きしめるなど、できることから行っていきましょう。

子どもの気持ちに寄り添う

なぐさめだけではなく、子どもの気持ちに共感した言葉かけをすることで、安心につながります。

子どもの聴覚は視覚よりも鋭いと言われています。大好きだよ、かわいいねなど愛情を言葉にすることも大切です。

人見知りを心配せず喜ぶ

子どもの中で母親や保育者への愛着が育っている証拠です。人見知りの時期にこそ、不特定多数の人に出会える公園や地区の子育て支援センターなどへ積極的に出かけると良いでしょう。保育者から離れない時は、それで良いのです。目に見えた変化が感じられなくても、子どもの心の中ではそういう経験を繰り返して、少しずつ、認識している安全な人から離れていられる距離を広げていくことができます。

ジャイロキネシス教室

9月26日に、馬場結佳先生（studio nobi 代表）をお迎えしてジャイロキネシス教室を開催しました。はじめに、参加されたお母さん方の現在の体の調子を丁寧に聞いてくださり、それに合わせてワークを行っていただきました。

（参加者からの感想）



ガチガチだった身体がほぐれて、とても気持ち良かったです

ジャイロキネシス教室後、数日間、身体の調子が良いです

本好きになるころ・からだを育てる遊び

10月号の子育てワンポイントで紹介しましたが、子どもは絵本を通してことばが豊かになり、想像力も育ち、自分の興味のある世界を広げていきます。本を読むことは、学ぶ力を育てることにもつながります。

子どもが本好きになるには、世の中を知りたい！本を読みたい！という“ころ”と自分で本が読める“からだ”づくりが大切です。子どもの発達に合った遊びをたくさんやって、学ぶ力の土台となるころとからだを育てていきましょう。

～本を読むことに必要な目・耳・手の育ちを促すおもちゃや遊び～

- 指先でチェーンをつまみ、容器に入れます
- 18か月頃～は、おままごとの食材に見立てて遊ぶ姿も見られます



- 不安定なところを歩いたり、少し高いところからジャンプ！
- バランス能力の強化につながります

18～24ヶ月

走る・ジャンプ

12か月～
音（ことば）と
絵あわせ・
歩きはじめ



- 手でドラムを回転する、光るものや鏡に興味を示す、ドラムの回転を注視する等、それぞれの子どもに合った遊びをします

9～12か月

つまむ・はめる
落とす

- 絵本に出てくるものの名前を言いながら指差しが始まる頃
- 読み聞かせは、少し高めの声で、ゆっくり話します

5～9か月

転がるものを追いかける



- ボールを穴に乗せて、手の平で押し落します
- 3色のボールと穴の色合わせも楽しめます

0～5か月
目と手の協応のはじまり
声のする方へ顔を向ける



- はいはいする頃、焦点を合わせ転がるものを追いかけます

- 揺れるおもちゃを、見つめます
- 手で引っ張ったり、揺らしたりして遊びます

支援センターには、他にも色んなおもちゃがあります！
遊びに来てみませんか♪